

最適化、統合、コンバージェンス、シンプル化、人間の外面、ロジカル、ファクト、サイエンス

イノベーションを促進するメカニズム (場・仕組み・環境など)

Output : $y = f(x)$

- ・自主性・好奇心・行動力を涵養し、チームを組み（リソースを組み合わせ）、国内外に課題を定義し、アクションを取れる人材の育成
- ・他者との違いを生み出す力や、複数の選択肢から選ぶ力が重要
- ・多様性を受容するための感性、コミュニケーション力も重要
- ・濃い「リアル」「生」の経験の提供
- ・学びのモジュール化と選択・アクセスの拡大

学び



- ・多様な個人がいる
- ・一個人が多様な欲求と機能（百姓性）を持つ
- ・多様性と専門性の組み合わせから価値が生じる

事象行動

Input : x

- ・テクノロジーを考えるときは、まずどのパラメータが使えるか、次に最適化を考える必要がある
- ・情報が本質であり、物質・波動・エコシステムは情報から出てくる

データ

AI・技術

- ・データ分析・メタ化による新しい価値の創出
- ・情報を媒介とするエコシステムの構築

夢・理念 目指すもの

Input : x

- ・一人一人がやりたいことを持ち、好きなことをやる。
- ・そこから生きている実感が湧く
- ・世の中に貢献する感覚

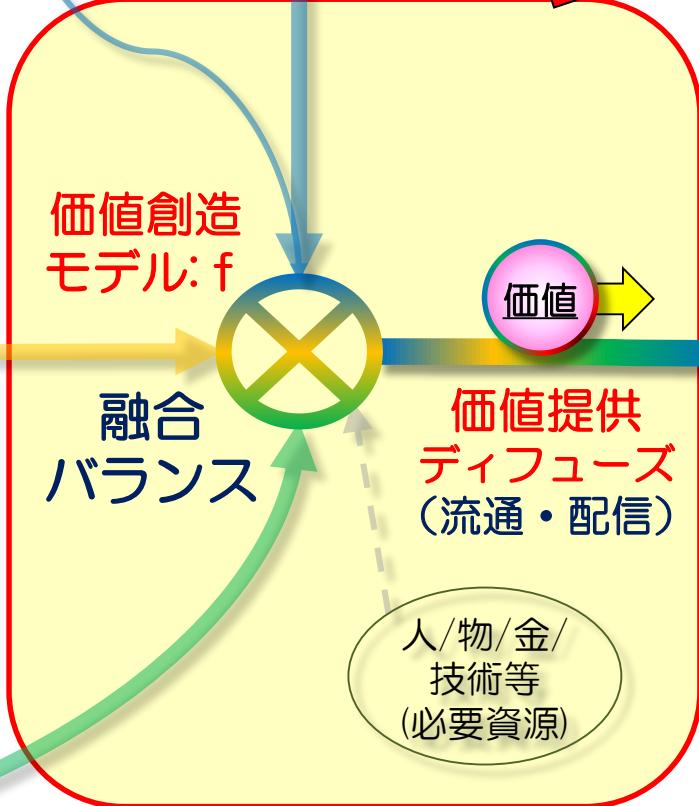
データ

データ

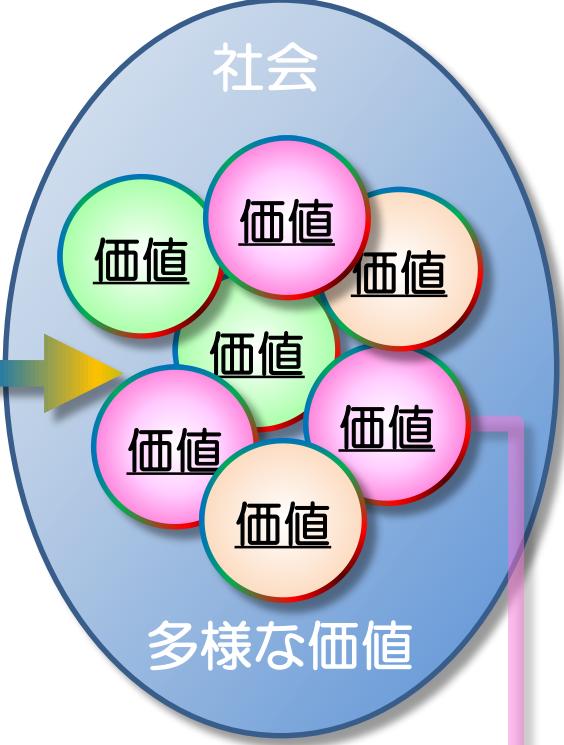
感性 美意識

Input : x

- ・サイバーに対し、リアルの体感・体得の価値・重要性が相対的に増加
- ・人間らしさ・感動、自然化（自然の一部としての人間）。歴史・伝統
- ・AIがシンプル化しすぎず、多様な選択肢を示し、最後は人が選択



- ・融合・新結合・昇華の促進によるイノベーション加速。タブーの破壊、守るより壊す、仕掛ける側になる
- ・多様な目的で共同できる場が必要。知的資産をアーカイブ・シェアし、利活用することで新たな価値を生む
- ・細分化された「やりたいこと」と人間の能力のマッチングシステムを構築し、協働という形で実現
- ・何度でも何種類でも自分をアップデートできる仕組み、再チャレンジできる社会。



- ・GDPに代わる指標を日本が先導して作る。「幸せ」を表すGNH (Gross national happiness) の現在の指標を改善し、経済社会システムを洗練。SDGs
- ・多様な個人を包摂し、統合的に社会を運用するには、複数の多様な価値が必要
- ・異質なものを外部から入ってくるものとの共存・融合 (例: e-citizen)
- ・安心・安全、プライバシーの確保、信用創造。共感・シェア。成長より分配
- ・地域ごとに保有する資産を活用したライフスタイルを提供。国・自治体がそのようなサービスを支える
- ・様々なシステムの実験的導入、複数の選択肢の中での競争を促す仕組み

複雑化、拡散、ダイバージェンス、ニッチ化、人間の内面、エモーショナル、フィール、アート

循環・還元・フィードバック